

令和 6 年度 エンブリオ・プログラム (Embryo Program)

— 学群生のアイデアを芽吹かせる研究助成 — 申請書への署名 (自署) についてのお願い

筑波大学 DESIGN THE FUTURE 機構では、令和 5 年度から、学群 3 年次以下のチームによる自主的な研究活動を経費面で支援する『エンブリオ・プログラム』を開始し、令和 6 年度については先日学内公募を開始したところです。この応募に際しては、教員 (プロジェクト代表者 (学群生) のクラス担任や指導教員等) による申請書への署名 (自署) を必須としております。

※本プログラムは、学群 3 年次以下のチームが行う本格的な研究活動を支援するものです。すでに本格的な研究テーマを持っているチーム、あるいは、ARE*で研究を体験してさらに進んだ研究をめざすチームなどの支援を想定しています。

*ARE (先導的研究者体験プログラム) は、研究活動を体験することができるプログラムです。個人での申請も可能で、経験や実績に応じた種目が設けられています。予算額が限られていますが、例年、40 件以上の幅広い課題が採択されています。(ARE ウェブサイト : <https://www.are.tsukuba.ac.jp/>)

これは、プロジェクト代表者 (学群生) 及び学群生チーム構成員が、責任を持って計画を立て、応募すべきものであるという基本的な視座に立ちつつも、当該計画をより良いものとするためには、教員の皆様のお力添えが不可欠であると考えているからです。

つきましては、御多忙のところ大変恐縮ではございますが、学群生チームが作成しました、下記①～④の応募書類一式につきまして、計画や経費内訳の妥当性等の御指導・御助言を賜りますとともに、「申請書」の冒頭の署名欄に自署をいただけますと幸いです。

- ①申請書 (様式 1) ※プロジェクト責任教員の署名必須。
- ②必要経費内訳書 (様式 2)
- ③添付書類 (見積書、カタログ等) (様式任意)
- ④構想全体の説明スライド (様式任意)

なお、当該自署により、学群生チームによる研究活動に対して責任を負うことは一切ありませんので、その点申し添えさせていただきます。

御面倒をおかけして申し訳ございませんが、学群生チームへのお力添えの程、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和 6 年 3 月 2 5 日

研究担当副学長 重田 育照

DESIGN THE FUTURE 機構長 西尾チツル

事務担当

研究推進部研究企画課 岩崎

E-mail : kenkyo@un.tsukuba.ac.jp

Tel : 内線 2922